

所属	人間社会学部・公共社会学科	職名	特任教授	氏名	中里 亜夫
----	---------------	----	------	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

1972年広島大学大学院文学研究科博士課程修了。同年国立有明工業高等専門学校講師として勤務。1979年に福岡教育大学教育学部助教授として着任し、同教授そして、定年退職。同大学名誉教授。2009年本学にて特任教授として着任。

主な研究分野は、(1)近代日本の歴史地理研究：家畜市場/屠場の再編整備の研究

(2)南アジア地域研究：インド・パキスタンの搾乳・酪農業の地域的展開に関する研究

(3)開発教育・市民性教育の研究：EU，特にイギリスの開発教育・市民性教育の研究である。2007年以降、「NPO法人宗像里山の会」の理事長として宗像市域の里山への侵入竹林の伐採・整理を進めている。地域社会貢献の一つとして里山再生に会員と共に汗を流している。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

なし

②その他、最近の業績

「講演」①第29回九州地区部落解放史研究集会(2010.07.26)

「明治期屠場法の成立経緯と牛疫」

「学会報告」

(1)2009年度地理科学会春季学術大会(2009,5,30)(於：広島大学)

「明治期の屠場立地と屠場法」

(2)歴史地理学会第222回研究例会 2009.12.12(於：国士舘大学)

「明治期・屠場法の成立経緯と屠場の地域的再編」

(3)2011年度地理科学会春季学術大会(2010.6.)(於：広島大学)

「パキスタン・カラチ大都市圏における搾乳業と屠場に関する研究(1)

－搾乳用水牛・牛の取引・流通と問屋制－

(4)2011年市場史研究会大会(2011.11.26)(於：大阪大学)

「明治期牛馬取引における牛馬市・牛馬宿の問題について

－パキスタン・シンド州など畜産流通調査との比較－

「学会シンポジウム」

①日本南アジア学会、シンポジウム(2009.10.4)(於：北九州大学)

「インドを講義する－地理、開発教育の観点から－」

②第53回歴史地理学会大会、シンポジウム(2010.5.16)(於：高崎経済大学)

「近代日本における消費地家畜市場の成立経緯とその機能」

「調査研究報告書」

①「第7章 2年間の経過と今後の展望」、公立大学法人福岡県立大学・経済産業省九州経済産業局編『平成21年度 地方の元気再生事業 世界遺産をめざす旧産炭地・田川再生プロジェクト報告書』、245-247頁、平成22年3月25日。

「エッセイ」

福岡県小学校社会科研究協議会編『遠眼鏡』を担当。年4回刊行。

③過去の主要業績

上記の主要な研究分野(1)、(2)、(3)でみる、

(1)「明治・大正期における朝鮮牛輸入(移入)・取引の展開」、歴史地理学会編『歴史地理紀要32』、129-159頁、1995。

(2)「イギリス植民地インドの主要都市における搾乳業—1920—30年代の英領インドを中心に」、『福岡教育大学紀要』、第54号 第2分冊、71-84頁、2005。

(3)クリスティーン・ロラン・レヴィ、アリストティア・ロス編、中里亜夫・竹島博之監訳『欧州統合とシティズンシップ教育—新しい政治学習の試み』、明石書店、286

頁、2006。

3. 外部研究資金

平成 23 年度科学研究費補助金（基盤研究（C））60 万円

4. 受賞

なし

5. 所属学会

日本地理学会、人文地理学会、歴史地理学会、地理科学会、日本南アジア学会、
広島史学研究会、市場史研究会

6. 担当授業科目・学部

世界地理・2 単位・1 年・後期、地理学概論・2 単位・2 年・前期、
国際共生研究（I・II）・2 単位・2 年・通年、NPO 論・2 単位・3 年・後期
地域社会分析法 C（地理）・2 単位・3 年・前期、卒業論文・6 単位・4 年・通年、
公共社会学研究（I・II）・2 単位・3 年・通年、総合演習・2 単位・3 年・前期（6
コマ担当）、社会貢献論・2 単位・1 年・前期（1 コマ担当）、社会貢献論演習・2 単位・
1 年・後期（4 名で担当）

7. 社会貢献活動

- 1) 福岡県小学校社会科教育研究協議会 会長
- 2) NPO 法人宗像里山の会 理事長

8. 学外講義・講演

- 添田町での講演：「英彦山・添田町の再生」と「高齢者リゾート」構想（10.27）
- 福岡教育大学での講義科目
（社会科・地理教育論（指導法）、外国地誌）
- 北九州市立長者研修大学校（穴生学舎、周望学舎）でのテーマ
（インド・パキスタンの農村生活 I・II）

9. 附属研究所の活動等

無